

家庭科と家庭環境

— 本校高校生の家庭環境の一部について —

横 井 操
遠 藤 ふ じ 子

I 緒 言

論叢第2号においてのべた通り、家庭科教育と家庭環境とは非常に関係が深い。しかも本校においては中学校・高等学校一貫した教育を行っている関係上、昭和31年11月に本校中学生の家庭生活及び家庭環境を調査したが、此の度は高校生を対象にして同様の調査を行い、その結果を比較考察して、家庭科教育の参考にしたいと考え、行った。

II 調 査 方 法

昭和33年12月8日・9日・10日の3日間にわたって、高一・高二・高三の出席者394名の生徒に下記の調査用紙を配布し、各項の解答を求め提出させた。

本校高校生は殆ど本校中学校から進学する者で、高校に他校より入学する者は極めて少数であり、前回の調査の際の中学2年は現在高一、3年は高二であるから、家庭環境として再び調査を必要としない項目は省略した。

調 査 用 紙

高 校 年 組 番 氏 名

下の線上に適当に記入して下さい。

- (1) 家族の人数 _____人
- (2) 家族中の乳幼児数 _____人
- (3) 家族中の老人(65才以上) _____人
- (4) 家族中の病人(1ヶ月以上病臥) _____人
- (5) 家事手伝い _____人
- (6) 家の職業 _____

下の適当な答を○でかこんで下さい。

(7) お客様がこられてお食事を出す時はお家でつくったお料理を出されますか。

いつも出す 時々出す ほとんど出さない

(8) お客様にお食事を出す時はお料理のお手伝いをしますか。

いつも手伝う 時々手伝う 全く手伝わない

(9) お家の献立はどのようにしてきめられますか。

お母様がきめられる 家族の希望がいられる あなたがきめる

(10) あなたのお家では粉食（主食）をなさいますか。

全くしない 1週に1回 1週に2回 1週に3回 1週に4回
1週に5回 1週に6回 1日に1回 1日に2回 1日に3回

(11) お弁当について

イ、お弁当は持って来ますか。

A ほとんど持ってくる 時々持ってくる ほとんど持ってこない

B いつも御飯 ほとんどパン 時々はパン

ロ、お弁当はどなたがつくられますか。

お母様 家事手伝人 生徒自身 その他

(12) 家族一同その日にあったことを話しあう事がありますか。

大体毎日 1週に3回以上 1週に1回～3回 全くない

(13) お小遣について

イ、お小遣をきめていただきますか。

1ヶ月に500円以下 500円以上 1000円以上 2000円以上 いただかない

ロ、いただいている方は小遣帳を記入していますか。

記入している 記入していない

ハ、いただいている方は小遣の使途について順位をつけて下さい。（10月、11月を対象として下さい）

被服費（靴下，グローブ，ハンカチ等を含む） 文房具費 交際費 娯楽費
通信費 食費（おやつ程度）

(14) お使いに行きますか。

1週に1回以上 たまに行く 全く行かない

(15) お家でお掃除をしますか。

A 自分のお部屋……毎日 1週間に1回以上 たまにする 全くしない

B お庭 …………… // // // //

C その他の場所…… // // // //

(16) 自分のお部屋や居間の美化に気をつけていますか。

お花をいける 手芸品を飾る その他

(17) お家を住みよくする為の工夫をしたことがありますか。

自分のお部屋 居間 台所 その他

家庭科と家庭環境

- (18) 家庭の年中行事にあなたはどのようなことをしましたか。
- | | | | | |
|---|-------------|-------------|----------|-----|
| A | お正月 …………… | 製作品をプレゼントした | 御馳走をつくった | その他 |
| B | 家族の人の誕生日…… | // | // | // |
| C | クリスマス …………… | // | // | // |
- (19) お洗濯について
- イ、電気洗濯機を使用していますか。
 使用している 使用していない
- ロ、下の衣類の洗濯を自分でしますか。
 ハンカチ 靴 下 下着類 エプロン 運動服 ねまき
- (20) 靴をみがきますか。
 自分の靴 家族の靴 みがかない
- (21) 電話のある方は取次をしますか。
 よくする あまりしない 全くしない
- (22) お客様の取次をしますか。
 よくする あまりしない 全くしない
- (23) 家族に乳幼児，病人，老人のいる方は世話をしてあげますか。
 よくする あまりしない 全くしない
- (24) お食事の用意及び後片附をしますか。
- | | | | | |
|-----|-------|-------|------|-------|
| 用意 | 1日に2回 | 1日に1回 | 時々する | 全くしない |
| 後片附 | // | // | // | // |
- (25) あなたはお家でお料理をしますか。
 1週に3回以上 1週に1回以上 1月に1回以上 1年に2～3回
 全然しない
- (26) あなたのしたお料理を，家族の方は召上りますか。
 いつも召上る 大てい召上る 時々召上る 全く召上らない
- (27) 家庭で衣類を仕立てたことがありますか。
- A ソックス 手袋 エプロン ブラウス スカート ワンピース 単衣
 裕長着 羽織 その他
- B 自分のものだけ仕立てる 時々家族のものも仕立てる 全く仕立てない
- (28) あなたの仕立てたもの（学校で仕立てたものも含む）を家族の方はどうなさいますか
 いつも着る 大てい着る 時々着る 全く着ない
- (29) あなたの年間の被服計画はどのようにしてきめられますか。
 お母様がきめられる 家族と相談してきめる あなた1人できめる
- (30) 学校に於て学習した家庭科をどのように生かしていますか。
- | | | | |
|-------------|------------|-----------|----------|
| 食物について | 被服について | 保育・家族について | 家庭経営について |
| 食 物 | 被 服 | | |
| 栄養に関する工夫をする | 衣生活を改善する | | |
| おいしいお料理をつくる | 衣料の選択を工夫する | | |

食事の時の雰囲気をよくする
食生活を改善する
その他（下に箇条書に下さい）

身だしなみに注意する
被服整理を手伝う
その他

保育・家族

弟妹のない人でも乳幼児の世話
ができる
おもちゃ、絵本の与え方などに
工夫する
子供とうまく遊ぶ
すすんで家族に協力する
エチケットを理解して人とつき
あう
その他

家庭経営

労力と時間のつかい方の工夫
リクレーションや睡眠に注意する
余暇を利用する
住居の衛生、安全に気をつける
支出の合理化をはかる
国民生活水準とわが家の経済を考
えて生活する
貯蓄に協力する
その他

Ⅲ 調査の結果

前記調査の解答者は高一 133名、高二 130名、高三 131名、計 394名であ
り、その結果を各学年毎にまとめて別表とした。

Ⅳ 結果に対する考察

以下別表の番号にしたがって、各項について考察して述べることにする。但
し表にあらわれた結果のみで、それ以上考察の結果、説明を必要としない項目
については省略する。

- (7) お客様にお食事を出すのに、お家でつくったお料理をほとんど出さないの
は僅かに 2.5%であるのは、主婦の教養の程度が高く堅実な家庭環境の一端が
うかがわれる。時々出すのが 68.7%であり、いつも出すのが 28.4%であるの
は、住居が都市で仕出屋の便利があるためと考えられる。
- (8) 前題の家庭環境において時々手伝うのが 75.8%であることは、本校高校
生の食物に対する関心の深さを示すものとして、よるこばしい結果と考察され
る。
- (9) お献立をきめるのに家族の希望がいれられるが 74.1%であるのは、一般
的に考えれば悪い結果とは思われないが、本校生徒の家庭としては生徒の積極
的な努力が加われば、更にパーセンテージが上昇するものと考えられる。
- (10) 粉食を 1日に 1回する家庭が 58.9%で最多数を占め、全くしないのは 2
%しかない。粉食の実行はわが国民の食生活改善の重要な問題であって、各家

[別表]

調査事項	人数及び%				高一	高二	高三	計	高一	高二	高三	計					
	高一	高二	高三	計													
(1) 家族の人数	2人	0	1	1	0	0	0.769	0.25	15	11	12	38	11.3	8.46	9.17	9.63	
	3人	28	19	26	73	21.0	14.6	19.8	18.5	41	33	105	23.3	37.7	25.2	26.6	
	4人	31	41	33	113	30.1	37.7	24.4	28.7	41	32	113	30.1	37.7	24.4	28.7	
	5人	40	41	32	113	30.1	37.7	24.4	28.7	11	11	18	40	8.28	8.46	13.7	10.1
	6人	11	11	18	40	4.52	3.84	5.34	4.57	6	5	7	18	4.52	3.84	5.34	4.57
	7人	1	1	2	4	0.75	0.76	1.52	1.01	1	1	2	4	0.75	0.76	1.52	1.01
	8人	1	1	0	2	0.75	0.76	0	0.50	1	1	0	2	0.75	0.76	0	0.50
(2) 現在の家族中	1人いるもの	3	0	4	7	2.25	0	3.06	1.77	0	0	3	3	0	0	2.29	0.76
	2人いるもの	0	0	3	3	0	0	2.29	0.76	22	26	21	69	16.5	20.0	16.0	17.5
(3) 老人家族中の	1人いるもの	4	6	4	14	3.01	4.62	3.06	3.55	1	0	0	1	0.75	0	0	0.25
	2人いるもの	1	0	0	1	0.75	0	0	0.25	4	6	3	13	3.01	4.62	2.29	3.30
	3人いるもの	1	0	0	1	0.75	0	0	0.25	1	0	0	1	0.75	0	0	0.25
(4) 家族中の	1人いるもの	4	6	3	13	3.01	4.62	2.29	3.30	1	0	0	1	0.75	0	0	0.25
	2人いるもの	1	0	0	1	0.75	0	0	0.25	59	52	52	163	44.3	40.0	39.7	41.4
(5) 家族手伝人事	1人いるもの	10	13	6	29	7.5	10.0	4.58	7.36	5	2	9	16	3.76	1.53	6.87	4.06
	2人いるもの	0	0	2	2	0	0	1.52	0.50	0	0	2	2	0	0	1.52	0.50
	3人いるもの	0	0	2	2	0	0	1.52	0.50	89	86	84	259	66.8	66.2	64.1	65.5
	4人いるもの	7	2	4	13	5.27	1.53	3.03	3.30	17	14	13	44	12.78	10.7	9.96	11.3
(6) 家の職業	会社員	3	2	7	12	2.25	1.53	5.34	3.04	2	3	6	11	1.50	2.31	4.58	2.78
	工商公務員	10	11	8	29	7.50	8.46	6.12	7.35	2	0	1	3	1.50	0	0.76	0.76
	教職	2	7	4	13	1.50	5.39	3.06	3.30	2	0	1	3	1.50	0	0.76	0.76
	医療	2	7	4	13	1.50	5.39	3.06	3.30	1	5	4	10	0.75	3.84	3.06	2.53
	醸造	0	0	0	0	0	0	0	0	31	34	47	112	23.3	23.3	35.8	28.4
	その他	100	92	79	271	75.0	70.8	60.3	68.7	2	4	4	10	1.50	3.08	3.06	2.53
(7) 家族の時間	いつも出す	0	0	1	1	0	0	0.76	0.25	14	19	30	63	10.5	14.6	22.9	15.9
	時々出す	113	101	85	299	85.0	77.7	64.9	75.8	6	9	15	30	4.52	6.92	11.4	7.64
	ほとんど出さない	0	1	1	2	0	0.76	0.76	0.50	0	1	2	3	0	0.76	0.76	0.50
	未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	23	31	44	98	17.3	23.8	33.6	24.9
(8) 家族の手伝い	お母様がきめる	110	98	84	292	82.7	75.3	64.1	74.1	0	1	1	2	0	0.76	0.76	0.50
	家族の希望が入れられる	0	1	1	2	0	0.76	0.76	0.50	0	0	2	2	0	0	1.52	0.50
	あなたがきめる	0	0	2	2	0	0	1.52	0.50	1	5	2	8	0.75	3.84	1.52	2.03
	未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	20	10	25	55	15.0	7.69	19.1	14.0
(9) 家族の食生活	全くしない	12	12	12	36	9.03	9.24	9.17	9.13	6	9	7	22	4.52	6.92	5.34	5.59
	1週に1回	1	1	2	4	0.75	0.76	1.52	1.01	1	1	2	4	0.75	0.76	1.52	1.01
	// 2回	5	1	4	10	3.76	0.76	3.06	2.54	4	3	0	7	3.01	2.31	0	1.77
	// 3回	83	76	73	232	62.4	58.4	55.7	58.9	1	8	3	12	0.75	6.16	2.29	3.05
	// 4回	1	8	3	12	0.75	6.16	2.29	3.05	0	2	0	2	0	1.53	0	0.50
	// 5回	0	2	0	2	0	1.53	0	0.50	0	3	3	6	0	2.31	2.29	1.52
	// 6回	0	3	3	6	0	2.31	2.29	1.52	125	118	128	371	94.0	90.8	97.7	94.0
	1日に1回	5	4	3	10	3.76	3.08	2.29	2.54	0	5	0	5	0	3.84	0	1.27
	// 2回	0	5	0	5	0	3.84	0	1.27	3	3	0	6	2.25	2.31	0	1.52
	// 3回	113	82	102	297	85.0	63.1	78.5	75.3	0	5	0	5	0	3.84	0	1.27
	// 4回	0	5	0	5	0	3.84	0	1.27	20	35	20	75	15.0	26.9	15.2	19.0
	// 5回	0	8	9	17	0	6.15	6.87	4.31	0	8	9	17	0	6.15	6.87	4.31
	// 6回	101	91	89	281	76.0	70.0	67.9	71.3	28	33	36	97	21.0	25.4	27.5	24.6
	1日に1回	3	4	3	10	2.25	3.08	2.29	2.50	1	1	3	5	0.75	0.76	2.29	1.27
	// 2回	0	1	3	4	0	0.76	2.29	1.27	0	1	0	1	0	0.76	0	0.25
	// 3回	0	3	3	6	0	2.31	2.29	1.52	89	97	95	281	66.8	75.4	72.5	71.4
	未記入	1	1	0	2	0	0.76	0	0.25	15	15	12	42	11.3	11.5	9.17	10.6
(10) 家族の会話	大体毎日	23	15	16	54	17.3	11.5	12.2	13.7	0	0	1	1	0	0	0.76	0.25
	1週に3回以上	0	0	1	1	0	0	0.76	0.25	5	2	4	11	3.76	1.53	3.06	2.79
	1週に1回~3回	1	1	3	5	0.75	0.76	2.29	1.26	5	5	3	13	3.76	3.84	2.29	3.30
	年に1回~2回	41	39	19	99	30.8	30.0	14.5	25.1	70	65	79	214	52.7	50.0	60.3	54.3
	全くない	5	6	5	16	3.76	4.62	3.82	4.07	12	14	23	49	9.03	10.7	13.8	12.9
	未記入	0	1	2	3	0	0.76	1.52	0.76	0	1	2	3	0	0.76	1.52	0.76
(11) 家族の衣服	1ヶ月に500円以下	51	28	29	108	42.1	24.4	27.3	31.6	70	87	77	234	58.0	75.9	72.7	68.4
	// 500円以上	4	10	4	18	3.29	9.52	3.76	5.27	25	15	8	48	20.6	13.0	7.55	14.0
	// 1000円以上	13	10	11	34	10.7	9.52	10.4	9.95	3	13	10	34	10.7	9.52	10.4	9.95
	// 2000円以上	12	14	23	49	9.03	10.7	13.8	12.9	4	12	14	41	9.92	12.2	14.1	12.0
	未記入	0	1	2	3	0	0.76	1.52	0.76	20	16	10	46	16.5	13.9	9.49	13.4
	記入している	70	87	77	234	58.0	75.9	72.7	68.4	6	8	12	26	4.96	6.95	11.3	7.61
	記入していない	4	10	4	18	3.29	9.52	3.76	5.27	12	14	15	41	9.92	12.2	14.1	12.0
	被服費	2	25	15	48	20.6	13.0	7.55	14.0	3	13	10	34	10.7	9.52	10.4	9.95
	文房具費	2	22	16	54	18.2	13.9	15.1	15.8	11	9	15	35	9.09	7.82	14.1	10.2
	交際費	3	11	9	35	9.09	7.82	14.1	10.2	4	5	7	18	4.13	6.08	5.66	5.27
	娯楽費	5	1	4	10	3.29	0.82	3.48	1.88	6	3	1	10	3.76	1.53	3.06	2.79
	通信費	1	9	3	13	3.76	1.53	3.06	2.79	1	0	3	4	0.75	0.76	2.29	1.26
	食費	1	11	15	32	9.09	13.0	5.66	9.35	2	14	11	41	11.5	13.6	10.4	12.0
	その他	2	17	17	51	14.0	14.7	16.0	14.9	3	17	17	51	14.0	14.7	16.0	14.9
	未記入	4	16	10	41	13.2	9.52	14.1	12.0	9	14	14	37	7.43	12.2	13.2	10.8
	1週に1回以上	11	11	12	34	9.09	9.56	11.3	9.95	2	11	12	34	9.09	9.56	11.3	9.95
	たまに行く	2	5	2	12	4.13	1.74	4.71	3.38	5	12	6	23	4.13	10.4	5.66	6.50
	全く行かない	3	5	12	23	4.13	10.4	5.66	6.50	4	24	9	40	19.0	7.82	6.60	11.7
	未記入	0	22	27	69	18.2	23.4	18.8	20.2	13	13	15	41	10.7	11.4	14.1	12.0

調査事項	人数及び%				高一	高二	高三	計	高一	高二	高三	計					
	高一	高二	高三	計													
(12) 家族の掃除	毎日	7	6	11	24	5.32	4.62	8.40	6.18	63	64	48	175	48.0	49.2	36.6	45.3
	1週に1回以上	57	55	68	180												

庭各個人の理解にまたねばならない。本校生徒の家庭の人々が教養があり理解があるため、上記の結果が得られたものと考察される。

(11) イ. A. お弁当をほとんど持ってくるのが94%で大多数であるのは、本校は原則としてお弁当を持ってくることにしているので、当然のことである、その他は特殊の条件の生徒の場合であるから、パーセンテージは低い。

B. お弁当がいつも御飯が75.3%あるのは(10)において最多数を占めていた1日1回の粉食は大体昼食にはしていないで、朝食がこれにあると推察される。

ロ. 31年度中学生の調査においては、お弁当をお母様がつくられるのが81.1%であったが、これが71.3%になり、生徒自身がつくるのが0.49%であったのが、2.5%になっている。これは中学生が高校に進んだので当然期待した結果であってよろこばしい。家事手伝い人がつくるのが前回同様少ないのは、母親の子供に対する愛情の発露であると考えられる。

(12) 31年度中学生の場合と比較して、家族一同その日にあったことを話しあう時が、大体毎日であるのが約10%も減ったのはよろこばしい結果ではないが、父親の職業上の関係で、やむを得ないものと考えられる。

(13) イ. お小遣は1ヶ月1,000円以上頂くのが62.4%で過半数を占めている。中学生の調査の時には500円以上が過半数であったが、高校に進学した結果、このように変わって来たことは当然である。

ロ. 小遣帳に記入しているのが31.6%で、中学生の調査の場合より約8%減っている。さきの調査の結果、家庭の協力を特にのぞんでおいたが、此の度高校においてこの結果となったことは、大いに反省し今後この方面の指導に留意すべきである。比較的高一に記入のパーセンテージが多いのは、家庭経営において家計簿記入の教材があるためと思う。

ハ. お小遣をいただいている生徒について、その使途を調べたら、文房具費を1位にする者が162人、娯楽費を1位にする者が58人、通信費を1位にする者が32人、交際費が29人、被服費が18人、食費が4人であった。同様に2位以下も下表Aの通りである。

【A】

① 文房具費	162人	② 娯楽費	64人	③ 娯楽費	55人
娯楽費	58	交際費	62	交際費	51
通信費	32	文房具費	54	通信費	51
交際費	29	被服費	48	文房具費	35
被服費	18	通信費	41	被服費	34
食費	4	食費	12	食費	23
④ 被服費	41	⑤ 被服費	46	⑥ 食費	69
通信費	41	食費	41	通信費	34
食費	40	通信費	37	被服費	26
交際費	35	交際費	29	娯楽費	10
娯楽費	25	娯楽費	18	交際費	7
文房具費	18	文房具費	7	文房具費	4

文房具に一番多く使用しているのが最も多く、娯楽に一番多く使用しているのがこれに次ぐのは、高校生の小遣使途として当然であろう。

各費目について、小遣をつかっている人数をA表からまとめて、その人数の多いものから順位をつけ、B表とした。

【B】

① 文房具費	280人
② 通信費	236人
③ 娯楽費	230人
④ 被服費	213人
⑤ 交際費	189人
⑥ 食費	189人

これによっても342人中文房具費に小遣を使っているのは280人で1位を占めて居り、交際費及び食費に使用している者は各々189人であって、これも当然と思われる。

別表によれば文房具費が小遣使途の第1である者は高一に最も多く、被服費が第1である者は高二、娯楽費が第1である者は高三に最も多いのは、家庭環境というよりは、むしろ年齢による関心の差異の結果であると考えられる。

(14) 中学生の調査の場合と回数においては大差はないが、お使いの内容は自らがちがって来たことと想像される。

(15) 自分のお部屋(A)とその他の場所(C)とは共にお掃除する人数のパーセンテージが中学生の調査の時より増している。それに反して、お庭(B)のお掃除はやや減少しているが、これは年齢から見て中学生が分担するということが考えられる。

(17) お家を住みよくするための工夫をすることにおいて、中学生の時の調査よ

り多いパーセンテージを示しているのは、よろこばしいことであった。

(18) 年中行事に製作品をプレゼントしたり、御馳走をつくったりするのは、中学生の調査の時よりも、何れもパーセンテージが低下している。これは年齢がすすんで、中学生時代ほどこのようなことと興味を持たなくなったのと、一般社会の形式的なことを廃する生活改善の影響によるものと考えられる。然し中学時代に、このようなことを経験することは、家庭科教育上のぞましいことである。

(19) イ. 洗濯機の使用は前回の調査において **81.3%** で、世間一般から見て非常に多かったが、其の後一般に増加して来たので、今回は **92.4%** になった。

ロ. 衣類の洗濯を自分でするのは、中学生の調査の場合と大差はないが、下着類のパーセンテージが約倍になったのは、年齢増加に伴ない当然であるが、よい結果である。

(20) 中学校の調査の場合に比して、靴をみがくことにおいても、良好なパーセンテージを示している。

(21) 電話の取次をよくするのが **68%** であるのは、中学生の調査における **56.6%** に比し、やや多くなっているが、これも当然と思う。

(22) お客様の取次をよくするのが **42.9%** で、中学生の場合に比して非常に増したのはよろこばしい。殊に高一が **49.6%** で多いのは、この種の仕事は、この年齢に最もふさわしいものと思われるから、家族関係の一部を指導し研究させる好時期であろう。

(23) 乳幼児・病人・老人の世話も全くしないのが中学生の調査の場合よりも **15%** も減っているが、これも高校生らしい現象としてよろこばしい。

(24) 食事の用意も後片附も 1日に1回するのが多数で、中学生の調査の場合に比して共に約 **10%** 上まわっている。これも当然とはいえよろこばしい。

(25) お家でお料理をするのが 1月に1回以上が **51%** で過半数を占め、これに次ぐのは 1週に1回以上の **22.9%** である。高校生は平日はお料理をする時間を持たないから、休日のみとする結果、このようにあらわれたことと思う。但し全くしないのが **8.7%** あって、しかも上級になる程多くなっているのは、多少進学準備のために時間がないものと解される。

(26) 生徒のつくったお料理を、家族の方がいつも召上るのが約 **78%** で断然多く、全く召上らないのは **0** であるのは、家庭が子女の教育に理解があるためであると思う。

(27) A. 衣類を仕立てるのは家庭でも割合に多く実習している。エプロンが **84.3%** で特に多いのは、バザーの生徒作品として仕立てたものであろう。スカート

が67.9%で、これに次ぐのは、比較的仕立が平易であり、必要性も多いことが原因となっているものと思われるが、よろこばしい現象である。

B. 自分のものだけ仕立てるのが51.5%で過半数であり、全く仕立てないのが9.6%であるというのは、共に25のお家でお料理をするのと同じ考察がなされる。時々家族のものも仕立てるのが36.2%もあることは非常によろこばしい。

(29) (9)と同様の考察がなされる。

(30) 食 物

おいしいお料理をつくるのが62%で最も多いのは、本校生徒の“食物”に対する関心が、此の方面に最も多くむけられていると考えられる。これに反して、食生活改善が16.4%しかないのは、比較的恵まれた環境にあって、その必要をさほど感じないのではないかと考えられるが、これは家庭科教育上からは考えねばならぬ問題点であろう。此の方面の教育には家庭の協力をねがいたい。

被 服

身だしなみに注意するのが79.5%で最も多く、衣生活を改善するのが11.4%で少ないのは、食物の場合と同様の考察がなされる。

保育・家族

子供とうまく遊ぶのが56.1%であるのは、いい傾向と考えられる。おもちゃや絵本の与え方に工夫するのが高三が最も多いのは、高三で“保育”を学習した結果のあらわれと思われる。すすんで家族に協力するということは抽象的で、協力の程度もはっきりしないから答えにくかったことと思うが40.8%であるのは、高校生としては今一段の好成績がのぞましい。

家 庭 経 営

余暇を利用するのが66.5%であるのは、多くの家庭が子女の教育に熱心で、課外の修養に余暇を利用するよう指導されているものと思う。国民生活水準とわが家の経済を考えて生活するというのが4.83%しかないが、これは恵まれた環境にあるものとしては、特に考えるべき問題であるから、学校においてもまた家庭においても、充分指導する必要があると思う。

V 結 論

本校高校生は400名であるが、この調査は前記のように解答者は394名であって、調査当日欠席したものは少数であった。

1. 調査の結果、家庭環境においては、昭和31年中学生の調査の場合と大差はない。

2. 然しこの2年間の一般社会及び一般家庭生活の進歩と共に、本校生徒の家庭においても文化的設備が更に増したり、生活が簡易化されたりしたことが認められる。

3. 生徒の家庭生活は中学生の時と殆んど同程度の事柄について調査したので、一般に進歩のあとが見られた。特に被服製作、調理実習は学校で学習した効果を家庭において相当発揮していると思われる。パーセンテージの上では、進歩のあとが見られなかったものもあるが、それは高校生よりもむしろ中学生にふさわしい問題であったから当然と解し得る。

4. 年級が進むにしたがって、進歩のあとが見られると期待したが、意外な結果が見出されたものもあった。これは進学其の他に關する社会的影響によるものと考えられるが、高校家庭科教育上考慮すべき問題である。

5. 問題(30)は高校家庭科教育指導の反省資料として出題調査を行ったが、概して簡単に研究の結果が見られるものは進んで行すが、これに反するものには余り興味を感じず、積極的な努力を欠くように思われる。家庭科教育上反省と努力の必要が感じられた。同時に家庭の協力を希望する。